

最終保障供給約款

平成29年4月1日実施

(平成28年12月28日届出)

北海道瓦斯株式会社

目 次

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| I 最終保障供給約款の適用 | 1 |
| 1. 適用..... | 1 |
| 2. 最終保障約款の届出及び変更..... | 1 |
| 3. 用語の定義..... | 1 |
| 4. 日数の取り扱い..... | 3 |
| II 使用の申し込み及び契約 | 3 |
| 5. 使用の申し込み..... | 3 |
| 6. 契約の成立及び変更..... | 4 |
| 7. 承諾の義務..... | 4 |
| 8. ガスの使用開始日..... | 5 |
| 9. 名義の変更..... | 5 |
| 10. ガス使用契約の解約..... | 5 |
| 11. 契約消滅後の関係..... | 6 |
| III ガス工事 | 6 |
| 12-1. ガス工事の申し込み..... | 6 |
| 12-2. ガス工事の承諾義務..... | 7 |
| 13. ガス工事の実施..... | 7 |
| 14-1. 内管工事に伴う費用の負担..... | 8 |
| 14-2. 本支管及び整圧器の新設・入取替に伴う費用の負担..... | 10 |
| 15. 工事費等の申し受け及び精算..... | 11 |
| IV 検針及び使用量の算定 | 12 |
| 16. 検針..... | 12 |
| 17. 計量の単位..... | 13 |
| 18. 使用量の算定..... | 13 |
| 19. 使用量のお知らせ..... | 15 |
| V 料金等 | 15 |
| 20. 料金の適用開始..... | 15 |
| 21. 支払期限..... | 15 |
| 22. 料金の算定及び申し受け..... | 16 |
| 23. 単位料金の調整..... | 17 |
| 24. 料金の精算等..... | 18 |
| 25. 保証金..... | 18 |
| 26. 料金及び延滞利息の支払い方法..... | 18 |
| 27. 料金の口座振替..... | 18 |
| 28. 料金のクレジット決済..... | 19 |

| | | |
|-------------|--|----|
| 29. | 料金の払込み | 19 |
| 30. | 料金の当社への支払日 | 19 |
| 31. | 延滞利息 | 20 |
| 32. | 料金の支払順序 | 20 |
| 33. | 工事費、修繕費、検査料その他の支払方法 | 20 |
| VI | 供給 | 20 |
| 34. | 供給ガスの熱量、圧力及び燃焼性 | 20 |
| 35. | 供給又は使用の制限等 | 21 |
| 36. | 供給停止 | 21 |
| 37. | 供給停止の解除 | 22 |
| 38. | 供給制限等の賠償 | 22 |
| VII | 保安 | 23 |
| 39. | 供給施設の保安責任 | 23 |
| 40. | 周知及び調査義務 | 23 |
| 41. | 保安に対するお客さまの協力 | 23 |
| 42. | お客さまの責任 | 24 |
| 43. | 供給施設等の検査 | 25 |
| VIII | その他 | 25 |
| 44. | 使用場所への立ち入り | 25 |
| | 付 則 | 25 |
| 1. | この最終保障約款の実施期日 | 25 |
| 2. | ガスメーターの能力の表記に関する経過措置 | 25 |
| 3. | 約款の閲覧場所 | 26 |
| | （別表第1）供給区域 | 26 |
| | （別表第2）本支管工事費の当社の負担額 | 32 |
| | （別表第3）本支管及び整圧器 | 32 |
| | （別表第4）ガスメーターの誤差が使用公差を超えている場合の使用量の算式 | 33 |
| | （別表第5）最高圧力を超える圧力で供給する場合の使用量の算式 | 33 |
| | （別表第6）適用する料金表 | 34 |
| | （別表第7）料金の日割計算（1） | 36 |
| | （別表第8）料金の日割計算（2） | 37 |
| | （別表第9）標準熱量より2パーセントを超えて低い場合に料金から差し引く金額の算式 | 37 |
| | （別表第10）燃焼速度・ウォッベ指数 | 38 |

I 最終保障供給約款の適用

1. 適用

- (1) 当社が、ガス事業法第2条第5項に規定される最終保障供給（以下「最終保障供給」といいます。）を行う場合のガスの料金（以下「料金」といいます。）その他の供給条件は、この最終保障供給約款（以下「この最終保障約款」といいます。）によります。なお、最終保障供給とは、当社を含むいずれのガス小売事業者ともガスの小売供給契約についての交渉が成立しないお客さま等に対し、この最終保障約款に基づき当社がガスを小売供給することをいいます。
- (2) この最終保障約款は、別表第1の供給区域に適用いたします。
- (3) この最終保障約款に定めのない細目的事項は、必要に応じてこの最終保障約款の趣旨に則り、その都度お客さまと当社との協議によって定めます。

2. 最終保障約款の届出及び変更

- (1) この最終保障約款は、ガス事業法の規定に基づき北海道経済産業局長に届け出たものです。
- (2) 当社は、ガス事業法の規定に基づき北海道経済産業局長に届け出て、この最終保障約款を変更することがあります。その場合、料金その他の供給条件は、変更後の最終保障供給約款によります。
- (3) 当社は、この最終保障約款を変更する場合は、当社ホームページ、付則3の約款の閲覧場所において、この約款を変更する旨、変更後の約款の内容及びその効力発生時期を周知いたします。

3. 用語の定義

この最終保障約款において使用する用語の定義は、次のとおりです。

— 熱量 —

- (1) 「熱量」… 摂氏0度及び圧力101.325キロパスカルの状態のもとにおける乾燥したガス1立方メートルの総熱量をいいます。
お客さまに供給するガスは、ガス事業法及びこれに基づく命令（以下「ガス事業法令」といいます。）で定められた方法によってその熱量を測定します。
- (2) 「標準熱量」… (1)の方法により測定する熱量の毎月の算術平均値の最低値をいいます。
- (3) 「最低熱量」… お客さまに供給するガスの熱量の最低値をいいます。

— 圧力 —

- (4) 「圧力」… ガス栓の出口におけるガスの静圧力（全てのガス栓を閉止した状態での圧力をいいます。消費機器使用中はこれより圧力は下がります。）をゲージ圧力（大気圧との差をいいます。）で表示したものをいいます。
- (5) 「最高圧力」… お客さまに供給するガスの圧力の最高値をいいます。
- (6) 「最低圧力」… お客さまに供給するガスの圧力の最低値をいいます。

— ガス工作物 —

- (7) 「ガス工作物」… ガスの製造及び供給のための施設であって、ガス事業のために用いるものをいいます（(9)から(18)までの設備は全て「ガス工作物」にあたります。）。

— 供給施設 —

(8)「供給施設」… ガス工作物のうち、導管、整圧器、昇圧供給装置、ガスメーター及びガス栓並びにそれらの付属施設をいいます。

— 導管 —

(9)「本支管」… 原則として公道（道路法その他の法令に定めのある国又は地方公共団体の管理する道路をいいます。）に並行して公道に埋設する導管をいい、付属するバルブ及び水取り器（導管内にたまった水を除去する装置をいいます。）等を含みます。

なお、次の各号の全てを満たす私道に埋設する導管については、将来当社が当該設備の変更や修繕を行うことに関して承諾する権限を有するその私道の所有者等の承諾をあらかじめ得られない場合を除き本支管として取り扱います。

- ① 不特定多数の人及び原則として道路構造令第4条第2項に定める普通自動車の通行が可能であること
- ② 建築基準法第42条に定める基準相当を満たすものであること
- ③ 工事によって地盤沈下等が発生するおそれや第三者の所有地に影響を及ぼすおそれがないこと
- ④ 本支管新設時の道路形態が長期にわたり確保されるものであること
- ⑤ その他、当社が本支管、供給管を管理するうえで著しい障害がないと判断できること

(10)「供給管」… 本支管から分岐して、お客さまが所有又は占有する土地と道路との境界線に至るまでの導管をいいます。

(11)「内管」… (10)の境界線からガス栓までの導管及びその付属施設をいいます。

(12)「ガス遮断装置」… 危急の場合にガスを速やかに遮断することができる装置をいいます。

— 導管以外の供給施設 —

(13)「整圧器」… ガスの圧力を一定の圧力範囲に調整する装置をいいます。

(14)「昇圧供給装置」… ガスを昇圧して供給する装置で、蓄ガス器（ガスを高圧で蓄える容器をいいます。）を備えないものをいいます。

(15)「ガスメーター」… 料金算定の基礎となるガス使用量を計量するために用いられる計量器をいいます。

(16)「マイコンメーター」… マイクロコンピューターを内蔵したガスメーターで、ガスの使用状態を常時監視し、漏えい、使用量の急増や長時間使用時など、あらかじめ当社が設定した条件に一致したときは、ガスを遮断するなどの保安機能を有するものをいいます。

(17)「ガス栓」… ガス工作物の末端に設置され、消費機器への供給の開始又は停止に用いる栓をいいます。

(18)「メーターガス栓」… ガスメーター入口に設置され、ガスの供給開始、供給停止時等に操作する栓をいいます。

— 消費機器 —

(19)「消費機器」… ガスを消費する場合に用いられる機械又は器具をいい、消費機器本体のほか給排気設備などの付属装置を含みます。

— その他の定義 —

(20)「ガスメーターの能力」… 当該ガスメーターが適正に計量できる範囲内の使用可能な最大流量のことであり、立方メートル毎時の数値で表わしたものをいいます。

(21)「ガス工事」… 供給施設の設置又は変更の工事をいいます。

- (22)「検針」… ガスの使用量（以下「使用量」といいます。）を算定するために、ガスメーターの指示値を目視又は通信設備等により読み取することをいいます。
- (23)「消費税等相当額」… 消費税法の規定により課される消費税及び地方税法の規定により課される地方消費税に相当する金額をいいます。この場合、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。
- (24)「消費税率」… 消費税法の規定に基づく税率に地方税法の規定に基づく税率を加えた値をいいます。
- (25)「需要場所」… ガスの供給を必要とする場所のうち、ガスの使用実態からみて一体として区分・把握し得る範囲をいいます。具体的には、1構内をなすものは1構内を、また、1建物をなすものは1建物を1需要場所といたしますが、以下の場合には、原則として次によって取り扱います。
- ① マンション等1建物内に2以上の住戸がある住宅
各1戸が独立した住居と認められる場合には、各1戸を1需要場所といたします。
なお、「独立した住居と認められる場合」とは次の全ての条件に該当する場合をいいます。
 - イ 各戸が独立的に区画されていること
 - ロ 各戸の配管設備が相互に分離して設置されていること
 - ハ 各戸が世帯単位の居住に必要な機能（炊事のための設備等）を有すること
 - ② 店舗、官公庁、工場その他
1構内又は1建物に2以上の会計主体の異なる部分がある場合には、各部分を1需要場所といたします。
 - ③ 施設付住宅
1建物にマンション等の住宅部分と店舗等の非住宅部分がある場合（施設付住宅といいます。）には、住宅部分については①により、非住宅部分については②により取り扱います。
- (26)「ガス小売供給に係る無契約状態」… お客さまが5（1）のガス使用の申し込みを当社に行う直前にガス小売供給を受けていた契約がクーリング・オフや、ガス小売事業者の事業継続が事実上困難になった場合等の事由により解約されているにもかかわらず、お客さまが引き続きガスの供給を受けている状態をいいます。
- なお、当社は、いずれのガス小売事業者とも託送供給契約が締結されていないにもかかわらず、お客さまが引き続きガスの供給を受けている状態である場合（当社がお客さまとガス小売供給に係る契約を締結している場合を除く。）には、ガス小売供給に係る無契約状態と判断いたします。

4. 日数の取り扱い

この最終保障約款において、料金算定期間等の期間の日数は、初日を含めて算定いたします。

II 使用の申し込み及び契約

5. 使用の申し込み

- (1) 最終保障供給を希望する方は、あらかじめこの最終保障約款を承諾のうえ、当社にガス使用の申し込みをしていただきます。

- (2) 申し込みの際は、お客さまの氏名、住所、連絡先等当社が必要と認める事項を明らかにし、所定の様式により申し込んでいただきます。
- (3) 申し込みの受付場所は、付則3の約款の閲覧場所と同様といたします。

6. 契約の成立及び変更

- (1) この最終保障約款に基づくガスの供給及び使用に関する契約（以下「ガス使用契約」といいます。）は、当社が5（1）のガス使用の申し込みを承諾したときに成立いたします。なお、契約を変更する場合も同様といたします。
- (2) お客さまが希望する場合又は当社が必要とする場合は、最終保障供給によるガスの使用に関する必要な事項について、契約書を作成いたします。この場合、契約は、（1）にかかわらず契約書作成時に成立いたします。

7. 承諾の義務

- (1) 当社は、5（1）のガス使用の申し込みがあった場合には、（2）の条件を満たしていることを前提として、承諾いたします。ただし、（3）から（5）の場合を除きます。
- (2) お客さまの資産となる3（10）の境界線よりガス栓までの供給施設は、当社が工事を実施したものであることを条件といたします。ただし、当社が特別に認める場合はこの限りではありません。なお、当社が実施する工事は、当社が定める契約条件によるものとします。
- (3) 当社は、次に掲げる当社の責めによらない事由によりガスの供給が不可能若しくは著しく困難な場合には、申し込みを承諾できないことがあります。
- ① ガス工作物を設置すべき土地、建物、道路又は河川等が法律、命令、条例又は規則によってガス工作物に関する当該工事を制限又は禁止されている場合
 - ② 災害及び感染症の流行等によりガスの製造能力又は供給能力が減退した場合
 - ③ 海上輸送の途絶等不可抗力により原料が不足した場合
 - ④ 申し込まれたガスの使用場所が、特異地形等であってガスの供給が技術的に困難であり又は保安の維持が困難と認められる場合
 - ⑤ その他、物理的、人為的又は能力的原因により、当社の正常な企業努力ではガスの供給が不可能な場合（供給力を確保する十分な努力を行ったにもかかわらず、必要な供給力を得られなかった場合を含む。）
- (4) 当社は、申込者が当社との他のガスの供給及び使用に関する契約（すでに消滅しているものを含みます。）の料金又は延滞利息をそれぞれの契約で定める支払期限日を経過しても支払われていない場合は、申し込みを承諾できないことがあります。
- (5) 当社は、申込者に対し25の保証金の支払いを求めたにもかかわらず、支払われていない場合は、申し込みを承諾できないことがあります。
- (6) 当社は、（2）から（5）によりガス使用の申し込みを承諾できない場合、その理由を遅滞なく申込者にお知らせいたします。

8. ガスの使用開始日

当社は、お客さまとのガス使用契約が成立したときには、ガスの使用開始日を以下のとおりといたします。なお、3(26)のガス小売供給に係る無契約状態が存する場合は、ガス小売供給に係る無契約状態に至る事由の発生日の翌日をその開始日といたします。

- ① ガス小売事業者（当社を含みます。）からの切り替えにより使用を開始する場合は、原則として、所定の手続きを完了した後に到来する16(1)の定例検針日の翌日。
ただし、お客さまの求めにより、当社が合意した日とする場合があります。なお、この場合は、お客さまから検針にかかる費用を申し受けます。
- ② 引越し（転入）等の理由で、新たにガスの使用を開始した場合（お客さまの申し込みにより、ガスメーターを開栓する場合をいいます。ただし、検査等のため一時閉栓し、開栓する場合及び37の規定によりガスの供給を再開する場合を除きます。以下同じ。）は、原則として、お客さまの希望する日。

9. 名義の変更

- (1) 最終保障供給を受けようとする方が、前に使用されていたお客さまのガス使用契約に関する全ての権利及び義務（前に使用されていたお客さまの料金支払義務を含みます。）を受け継ぎ、引き続きガスの使用を希望される場合は、名義を変更していただきます。
- (2) (1)の場合において、前に使用されていたお客さまのガス使用契約が消滅している場合には、5(1)の規定によって申し込んでいただきます。

10. ガス使用契約の解約

(1) 引越し（転出）等の理由による解約

- ① お客さまが、引越し等の理由によりガスの使用を廃止する場合には、あらかじめその廃止の期日を当社に通知していただきます。この場合、当社は、その廃止の期日をもってガス使用契約の解約の期日といたします。
ただし、特別の理由なくして、当社がガス使用廃止の期日後にその通知を受けた場合には、その通知を受けた日をもって解約の期日といたします。
- ② お客さまが当社にガス使用廃止の通知をしない場合であっても、すでに転居されている等、明らかにガスの使用を廃止したと認められるときは、当社がガスの供給を終了させるための措置（メーターガス栓の閉栓、ガスメーターの取り外しその他ガスの供給を遮断することをいいます。）をとることができます。この場合、この措置をとった日に解約があったものといたします。
なお、ガスの使用を廃止したと認められる時点で、すでに36の規定によりガスの供給を停止している場合には、その停止した日に解約があったものといたします。

(2) ガス小売事業者への契約切替えによる解約

お客さまがガス使用契約を解約し、新たにガス小売事業者（当社を含みます。）からガスの供給を受ける場合には、新たなガス小売事業者に対し契約の申込みをしていただきます。
当社は、当該ガス小売事業者からの依頼を受け、お客さまとのガス使用契約を解約するために必要な手続きを行います。この場合、ガス使用契約は、新たなガス小売事業者からお客さまへのガスの供給を開始するために実施される検針日を解約日とします。

- (3) 当社は、7 (3) の各号の事由により、ガスの供給の継続が困難な場合には、文書でお客さまに通知することによって、ガス使用契約を解約することがあります。
- (4) 当社は、36の規定によってガスの供給を停止されたお客さまが、当社の指定した期日までにその理由となった事実を解消しない場合には、ガス使用契約を解約することがあります。この場合、解約を予告する日と解約する日との間に15日間及び5日間(休日を含みます。)の日数をおいて少なくとも2回予告いたします。

11. 契約消滅後の関係

- (1) ガス使用契約期間中に当社とお客さまとの間に生じた料金その他の債権及び債務は、10の規定によってガス使用契約が解約されても消滅いたしません。
- (2) 当社は、10の規定によってガス使用契約が解約された後も、ガスメーター等当社所有の既設供給施設を、設置場所の所有者又は占有者の承諾を得て、その場所に引き続き置かせていただくことがあります。

III ガス工事

当社は、ガス工事に関して以下のように取り扱います。

12-1. ガス工事の申し込み

- (1) ガスを新たに使用するため又はガスの使用状況を変更するためにガス工事を申し込む方は、当社が別途定める契約条件に基づき、当社にガス工事の申し込みをしていただきます(13(1)ただし書により当社が承諾した工事人(以下「承諾工事人」といいます。)にガス工事を申し込む方を除きます。)
- (2) (1)のガスの使用状況の変更とは、ガス栓の増減、内管又はガスメーターの位置替え等供給施設を変更することをいいます。
- (3) 建築事業者、宅地造成事業者等(以下「建築事業者等」といいます。)は、お客さまのため、(1)のガス工事を当社に申し込むことができます。この場合、当該ガス工事については、当該建築事業者等をお客さまとして取り扱います。
- (4) ガスメーターの決定、設置
- ① 当社は、(1)の申し込みに応じてガスメーターの能力を決定いたします。適正なガスメーターの能力は、原則として、当該ガス工事の申し込みのときに、お客さまが設置している消費機器及び将来設置を予定している消費機器(使用開始にあたって、(2)に規定する使用状況を変更することなく使用できる消費機器に限ります。)を同時に使用されたときの1時間当たりの標準的ガス消費量を通過させることのできる能力といたします。
 - ② 家庭用にガスを使用される場合には、①の標準的ガス消費量を算出するにあたって次の消費機器を算出の対象から除きます。
 - イ オープン、卓上コンロ等でガス消費量又は使用頻度が少ないもの
 - ロ 暖房機器又は温水機器等がそれぞれ2個以上ある場合は、使用状況を十分調査し、同時に使用しないと明らかに判明したもの(大型と小型の場合は、小型のものとしします。)
 - ③ 家庭用以外でガスを使用される場合は、その使用状況に応じ、お客さまと協議のうえで①の標準的ガス消費量を算出することがあります。

- ④ 当社は、1 需要場所につきガスメーター 1 個を設置いたします。なお、当社が特別の事情があると判断したときには、1 需要場所につきガスメーターを 2 個以上設置することがあります。
- ⑤ 当社は、お客さまと協議のうえ、適正に計量することができ、かつ、検針、検査、取替等維持管理が容易な場所にガスメーター等を設置いたします。

12-2. ガス工事の承諾義務

- (1) 当社は、12-1 (1) のガス工事の申し込みがあった場合には、(2) に規定する場合を除き、承諾いたします。
- (2) 当社は、次に掲げる事由によりガス工事の実施が不可能又は著しく困難な場合には、申し込みを承諾できないことがあります。
 - ① ガス工作物を設置すべき土地、建物、道路又は河川等が法律、命令、条例又は規則によってガス工作物に関する当該工事を制限又は禁止されている場合
 - ② 申し込まれたガス工事場所が、特異地形等であってガス工事の実施が技術的に困難又は保安の維持が困難と認められる場合
 - ③ その他、物理的、人為的又は能力的原因により、当社の正常な企業努力ではガス工事の実施が不可能な場合
- (3) 当社は、(2) によりガス工事の申し込みを承諾できない場合、その理由を遅滞なくお客さまにお知らせいたします。

13. ガス工事の実施

ーガス工事の施工者等ー

- (1) ガス工事は、当社が施工いたします。ただし、(2) に定める工事は、承諾工事人に施工させることができます。
- (2) ガス工事のうち、お客さまが承諾工事人に申し込み、施工させることができる工事は、低圧（ゲージ圧力で 0.1 メガパスカル未満の圧力をいいます。）でガスの供給を受けており、ガスメーターの能力が 16 立方メートル毎時以下のマイコンメーターが既に設置されている一般建物（ガス事業法令に定められている建物区分の一般業務用建物、一般集合住宅又は一般戸建住宅に該当するものをいいます。）で、そのガスメーターより下流側で以下のいずれかに該当する露出部分の工事といたします。
 - ① フレキ管を配管してガス栓を増設する工事
 - ② フレキ管を配管してガス栓又は内管の位置を替える工事
 - ③ 継ぎ手のみ使用してガス栓を増設する工事
 - ④ 継ぎ手のみ使用してガス栓の位置を替える工事
 - ⑤ ガス栓のみを取り替える工事
 - ⑥ ①から⑤の工事に伴う内管の撤去工事
- (3) お客さまがガス工事を承諾工事人に申し込み、施工させる場合、工事費その他の条件はお客さまと承諾工事人との間で定めていただくこととし、当社はこれに関与いたしません。
また、その工事に関して後日補修が必要となったとき又はお客さまが損害を受けられたとき等には、お客さまと承諾工事人との間で協議のうえ解決していただくこととし、当社はこれに関与いたしません。

— 気密試験等 —

- (4) 当社が施工した内管及びガス栓を当社がお客さまに引き渡すにあたっては、当社はあらかじめ内管の気密試験を行います。
- (5) 承諾工事人が施工した内管及びガス栓を承諾工事人がお客さまに引き渡すにあたっては、承諾工事人が内管の気密試験を行います。ただし、当社が必要と認めた場合には、当社が内管の気密試験を行うことがあります。
- (6) 承諾工事人が実施した工事に保安上の瑕疵がある場合、又は(5)の気密試験に合格しない場合は、補修が完了するまで当社は当該施設へのガスの供給をお断りすることがあります。

— 供給施設等の設置承諾 —

- (7) 当社は、3(10)の境界線内において、そのお客さまのために必要な供給施設の設置に要する場所を無償で使用させていただきます。この場合、お客さまは、その場所が借地又は借家であるときは、あらかじめ当該土地及び建物の所有者その他の利害関係人の承諾を得ておいていただきます。これに関して、後日紛争が生じても当社は責任を負いません。
- (8) 当社が、お客さまのために私道に導管を埋設する場合には、お客さまは私道所有者等から当社が定める様式にて承諾を得ていただきます。
- (9) 当社は、当社又は承諾工事人が供給施設を設置した場合、門口等、3(10)の境界線内に当社所定の標識を掲げさせていただく場合があります。

14-1. 内管工事に伴う費用の負担

— 供給施設の所有区分と工事費 —

- (1) 内管及びガス栓はお客さまの所有とし、お客さまの負担で設置していただきます。
- (2) 内管及びガス栓の所有権は、工事費の全額が支払われるまでは当社が留保するものとし、お客さまは当社の承諾なしにこれらを使用することはできません。この場合、その旨の表示を付すことがあります((4)(6)(8)において同じ)。
- (3) 内管及びガス栓の工事に要する費用の額は、工事の種類及び工事を実施する建物の種類に応じて、①に定める方法により算定した見積単価(ただし、②に掲げる工事を除きます。)に、内管の延長やガス栓の個数等の使用数量を乗じて算出した見積金額と、別途に必要な付帯工事費、夜間工事費及び休日工事費等の加算額に消費税等相当額を加えたものといたします。

① 内管及びガス栓の見積単価は、工事に要する材料費、労務費、運搬費、設計監督費及び諸経費の費用の実績を基礎として算定し、1m当たり、1個当たり又は1箇所当たり等で表示いたします。なお、見積単価を記載した見積単価表は、当社の事業所等に掲示しています。

イ 材料費

材料費は、工事に要するガス管、ガス栓、継ぎ手及びその他の材料のそれぞれの材料単価にそれぞれの使用数量を乗じて算出いたします。

ロ 労務費

労務費は、歩掛及び賃率に基づき算出いたします。

ハ 運搬費

運搬費は、倉庫から工事現場までの材料運搬費及び工作車にかかる費用に基づき算出いたします。

ニ 設計監督費

設計監督費は、設計費、見積事務費及び監督費の合計額に基づき算出いたします。

ホ 諸経費

諸経費は、現場経費、間接業務従事者労務費及び間接経費の合計額に基づき算出いたします。

- ② 次に掲げる工事、付帯工事、その他の工事箇所状況等により特別の工程、工法又は材料を用いる工事に要する費用の額は、その工事に要する材料費、労務費、運搬費、設計監督費及び諸経費の費用に基づき算出した個別の設計見積金額の合計に消費税等相当額を加えたものといたします。

イ 溶接配管等の特殊な工法を用いて実施する工事

ロ 特別な設備の組み込みを必要とする場合又は特別な建築物等で実施する工事

ハ 当社が別に定めた規格・工法に基づき、工場内で当社が指定する製作品に組み込まれた工事材料をお客さまが提供する工事

(4) お客さまのために設置されるガス遮断装置は、原則としてお客さまの所有とし、お客さまの負担で設置していただきます。

(5) (4) に定めるガス遮断装置の設置に要する工事費は、設計見積金額に消費税等相当額を加えたものといたします。

(6) お客さまの申し込みによりそのお客さまのために設置される整圧器は、お客さまの所有とし、お客さまの負担で設置していただきます。

(7) (6) に定める整圧器の設置に要する工事費は、設計見積金額に消費税等相当額を加えたものといたします。

(8) お客さまの申し込みによりそのお客さまのために設置される昇圧供給装置はお客さまの所有とし、お客さまの負担で設置していただきます。

(9) (8) に定める昇圧供給装置の設置に要する工事費は、設計見積金額に消費税等相当額を加えたものといたします。

(10) ガスメーターは当社所有のものを設置し、これに要する工事費（設計見積金額に消費税等相当額を加えたものといたします。）は、お客さまにご負担していただきます。

ただし、ガスメーターの検定期間満了による取替等、当社都合により工事が発生する場合には、これに要する工事費は当社が負担いたします。

(11) 供給管は当社の所有とし、これに要する工事費は、当社が負担いたします。ただし、お客さまの依頼により供給管の位置替えを行う場合には、これに要する工事費（設計見積金額に消費税等相当額を加えたものといたします。）は、お客さまにご負担していただきます。

一 工事材料の提供と工事費算定 一

(12) 当社は、お客さまが提供する工事材料を用いて内管及びガス栓の工事を行う場合には、次により工事費を算定いたします。

- ① 当社は、お客さまが工事材料を提供する場合（②を除きます。）には検査を行い、それを用いることがあります。ただし、ガス事業法令の定める基準に適合していることを要します。

お客さまが工事材料を提供する場合、その工事材料を（3）の工事費算定の基礎となる単価で見積もり、その金額を材料費から控除して工事費を算定いたします。また、その工事材料の検査料（所要費用に消費税等相当額を加えたものといたします。）をお客さまにご負担していただきます。

② 当社は、当社が別に定めた規格・工法に基づき、工場内で当社が指定する製作品に組み込まれた工事材料をお客さまが提供する場合には検査を行い、それを用いることがあります。この場合、その工事材料を控除して工事費を算定いたします。また、別に定める検査料（所要費用に消費税等相当額を加えたものいたします。）をお客さまにご負担していただきます。

③ ②のお客さまが提供する工事材料とは、次の全ての条件に該当するものに限り、これを用いる場合には、あらかじめ当社と別途製作品の仕様、工事材料の設計仕様、工場の指定などについて契約を締結していただきます。

イ ガス事業法令及び当社の定める材料、設計、施工基準に適合するものであること

ロ 当社が指定する講習を修了した者により、当社が指定する工場内であらかじめ組み込まれたものであること

— 修繕費の負担 —

(13) お客さま所有の供給施設の修繕費（修繕、改修、取替等に要する費用をいい、所要費用に消費税等相当額を加えたものいたします。）はお客さまにご負担していただき、当社所有の供給施設の修繕費は当社が負担することを原則といたします。

14-2. 本支管及び整圧器の新設・入取替に伴う費用の負担

— 工事負担金 —

(1) 本支管及び整圧器（14-1（6）の整圧器を除きます。）は当社の所有とし、次の差額が生じる場合には、その差額に消費税等相当額を加えたものを工事負担金としてお客さまにご負担していただきます。なお、当社が設置した本支管及び整圧器（14-1（6）の整圧器を除きます。）は、当社が他のお客さまへのガス供給のためにも使用いたします。

① ガス工事の申し込みに伴い本支管及び整圧器の新設工事を行う場合において、お客さまの予定使用量に必要な大きさの本支管及び整圧器（別表第3に掲げる本支管及び整圧器のうち、お客さまの予定使用量の供給に必要最小限度の口径のものをいいます。）の設置工事に要する費用（以下「延長工事費」といい、消費税等相当額を除いたものいたします。）が別表第2の当社の負担額を超えるときは、その差額

② ガス工事の申し込みに伴い本支管及び整圧器の入取替工事を行う場合において、その工事に要する費用から入取替工事によって不要となる本支管及び整圧器と同等のもの材料価額（全ての既設本支管及び既設整圧器の帳簿価額（消費税等相当額を含まないものいたします。）の平均額のうち、材料価額（消費税等相当額を除いたものいたします。）に相当する額をいいます。）を差し引いた金額（以下「入取替工事費」といいます。）が別表第2の当社の負担額を超えるときは、その差額

③ ガス工事の申し込みに伴う本支管及び整圧器の新設工事が入取替工事を伴う場合において、①の延長工事費及び②の入取替工事費の合計額が別表第2の当社の負担額を超えるときは、その差額

— 複数のお客さまから申し込みがあった場合の工事負担金の算定 —

(2) 複数のお客さまからガス工事の申し込みをいただいたことに伴い本支管及び整圧器の新設・入取替工事を行う場合において、当社が同時に設計及び見積もりを行い、工事を実施することができる場合には、お客さまと協議のうえ、1つの工事として取り扱うことがあります。

- (3) (2) の場合、当社が同時に設計及び見積もりを行った工事費（消費税等相当額を除いたものとし、その複数のお客さまについての別表第2の当社の負担額の合計額を超えるときは、その差額に消費税等相当額を加えたものを工事負担金としてお客さまにご負担していただくものとし、公平の原則に基づきそれぞれのお客さま別に割り振り、算定いたします。
- (4) (2) の「1つの工事」とは、同時になされた全てのお客さまの申し込みについて、当社が一括して同一設計書で実施する工事をいいます。
- (5) 複数のお客さまから共同してガス工事の申し込みをいただいたことに伴い本支管及び整圧器の新設・入取替工事を行う場合には、その申し込みを1つの申し込みとして取り扱うことがあります。
- (6) (5) の場合の工事費（消費税等相当額を除いたものとし、その複数のお客さまについての別表第2の当社の負担額の合計額を超えるときは、その差額に消費税等相当額を加えたものを工事負担金としてお客さまにご負担していただきます。この工事負担金は、それぞれのお客さまごとの算定を行いません（(8) (9) において同じ。）。
- (7) 建築事業者等から複数のガスの使用予定者のためのガス工事の申し込みがあり、それに伴って本支管及び整圧器の新設・入取替工事を行う場合は、(5) の申し込みがあったものとして取り扱います。
- (8) (7) の場合の工事費（消費税等相当額を除いたものとし、使用予定者についての別表第2の当社の負担額の合計額を超えるときは、その差額に消費税等相当額を加えたものを工事負担金としてご負担していただきます。

一 宅地分譲地の場合の工事負担金算定 一

- (9) 当社は、宅地分譲地についてガス工事の申し込みがあった場合は、次により取り扱います。
- ① 「宅地分譲地」とは、住宅等の用地として分譲することを目的に整地分割される土地であって、建築事業者等により、ガス工事の申し込みを受けたときに3年経過後のガスの使用予定者数を推計できるものをいいます。
- ただし、既築の建物が予定される区画数に対して50パーセント以上ある場合を除きます。
- ② 申し込みによるガスの使用予定者への供給に必要な本支管及び整圧器の新設・入取替工事費が、3年経過後のガスの使用予定者についての別表第2の当社の負担額の合計額を超えるときは、その差額に消費税等相当額を加えたものを工事負担金としてご負担していただきます。この場合、3年経過後のガスの使用予定者数の算定は、原則として、当該宅地分譲地における全てのガスの使用予定者数の50パーセントを超えるものとし、特別の事情がある場合は、その30パーセント以上とすることができます。
- ③ 住宅等の用地として分譲することを目的に整地分割される土地であって、建築事業者等によりガス工事の申し込みを受けたときに3年経過後のガスの使用予定者数を推計できない場合は、協議のうえで工事負担金を決定することがあります。

15. 工事費等の申し受け及び精算

- (1) 当社は、14-1の規定によりお客さまにご負担いただくものとして算定した工事費を、原則として、その工事完成日（ガスメーターの取付作業を含む工事にあつてはガスメーターの取付日とし、それ以外の工事にあつては引渡日を行います。）の前日までに全額申し受けます。

- (2) 当社は、14-2の規定によりお客さまにご負担いただくものとして算定した工事負担金を、原則として、その工事完成日（ガス工事の申し込みをいただいたときに新たな本支管及び整圧器（14-1（6）の整圧器を除きます。）の工事を必要としない状態となった日をいいます。）の前日までに全額申し受けます。
- (3) 当社は、債権保全上必要と認める場合には、工事着手前に14-1及び14-2の規定により算定した工事費及び工事負担金（以下「工事費等」といいます。）を全額申し受けます。
- (4) 当社は、次の事情によって工事費等に著しい差異が生じたときは、工事完成後、遅滞なく精算することといたします。
- ① 工事の設計後にお客さまの申し出により導管の延長・口径又は材質その他工事に要する材料の変更及び特別の工程等工事の実施条件に変更があったとき
 - ② 工事の設計時に予知することができない地下埋設物・掘削規制等に伴う工事の実施条件に変更があったとき
 - ③ 工事に要する材料の価額又は労務費に著しい変動があったとき
 - ④ その他工事費等に著しい差異が生じたとき

IV 検針及び使用量の算定

16. 検針

— 検針の手順 —

- (1) 当社は、あらかじめ定めた日に毎月1度検針（この検針を「定例検針」といい、定例検針を行った日を「定例検針日」といいます。）を行います。定例検針を行う日は以下の手順により定めます。
- ① 検針区域の設定…効率的に検針できるよう、一定の区域を設定します。
 - ② 定例検針を行う日の設定…検針区域ごとに検針の基準となる日を設定し、休日等を考慮のうえ検針を行う日を定めます。
- (2) 当社は、(1)の定例検針日以外に次の日に検針を行います。
- ① 8②に規定するガスの使用開始日
 - ② 10（1）から（3）の規定により解約を行った日
 - ③ 36の規定によりガスの供給を停止した日
 - ④ 37の規定によりガスの供給を再開した日
 - ⑤ ガスメーターを取り替えた日
 - ⑥ 8①ただし書に規定する日（お客さまの求めにより、当社が合意したガスの使用開始日）の前日
 - ⑦ その他当社が必要と認めた日

— 検針の省略 —

- (3) 当社は、お客さまが8なお書、8①ただし書及び8②に規定するガスの使用開始日又は37の規定によりガスの供給を再開した日から、その直後の定例検針を行う日までの期間が5日（21（3）に規定する休日を除きます。）以下の場合には、使用開始直後の定例検針を行わないことがあります。

- (4) 当社は、ガス使用契約が10(1)から10(3)の規定により解約される場合で、解約の期日直前の定例検針を行う日又は定例検針日から解約の期日までの期間が3日(21(3)に規定する休日を除きます。)以下の場合には、解約の期日直前の定例検針を行わないか、又はすでに行った解約の期日直前の定例検針を行わなかったものとする場合があります。
- (5) 当社は、(2)③の供給停止に伴う検針日から(2)④の供給再開に伴う検針日までの期間が6日(21(3)に規定する休日を除きます。)以下の場合には、行った検針のいずれも行わなかったものとする場合があります。
- (6) 当社は、お客さまの不在又は災害及び感染症の流行等やむを得ない事情により、検針すべき日に検針できない場合があります。

17. 計量の単位

- (1) 使用量の単位は、立方メートルといたします。
- (2) 検針の際の小数点第1位以下の端数は読みません。
- (3) 18(9)又は(12)の規定により使用量を算定する場合には、その使用量の小数点第1位以下の端数は切り捨てます。

18. 使用量の算定

- (1) 当社は、前回の検針日及び今回の検針日におけるガスメーターの読み(以下「検針値」といいます。)により、その料金算定期間の使用量を算定いたします。
- なお、ガスメーターを取り替えた場合には、取り外したガスメーター及び取り付けしたガスメーターそれぞれにより算定された料金算定期間中の使用量を合算して、その料金算定期間の使用量といたします。
- また、8なお書及び8①本文の場合には、使用開始日の前日の検針値を、前回の検針日における検針値として取り扱います。
- (2) (1)の「検針日」とは、次の日をいいます((3)、(7)及び21(1)において同じ。)
- ① 16(1)及び(2)(ただし、⑤を除きます。)の日であって、検針を行った日
 - ② 18(4)から(7)までの規定により使用量を算定した日
 - ③ 18(8)の規定により使用量を算定した場合は、検針をすべきであった日
- (3) (1)の「料金算定期間」とは、次の期間をいいます。
- ① 検針日の翌日から次の検針日までの期間(②及び③の場合を除きます。)
 - ② 8②に規定する新たにガスの使用を開始した場合又は37の規定によりガスの供給を再開した場合、その開始又は再開の日から次の検針日までの期間
 - ③ 36の規定によりガスの供給を停止した日に37の規定によりガスの供給を再開した場合、供給再開日の翌日から次の検針日までの期間

— お客さまが不在の場合の使用量算定等 —

(4) 当社は、お客さまが不在等のため検針できなかつた場合には、その料金算定期間（以下「推定料金算定期間」といいます。）の使用量は、原則として、その直前の料金算定期間の使用量と同量といたします（なお、8①（ただし書の場合を除く。）に規定するガスの使用開始日以降最初の検針日に、お客さまが不在等のため検針できなかつた場合は、当社が保有する託送供給に係る検針値を用いて同様に使用量を算定いたします。）。この場合、推定料金算定期間の次の料金算定期間（以下「翌料金算定期間」といいます。）の使用量は、次の算式により算定いたします。

$$V2 = M2 - M1 - V1$$

（備考）

V1 = 推定料金算定期間の使用量

V2 = 翌料金算定期間の使用量

M1 = 推定料金算定期間開始日前日の検針におけるガスメーターの指示値

M2 = 翌料金算定期間末日の検針におけるガスメーターの指示値

(5) (4) で算定した結果がマイナスになる場合は、翌料金算定期間の使用量を次の①の算式で算定した使用量に、推定料金算定期間の使用量を次の②の算式で算定した使用量に、各々見直しいたします。

① $V2 = (M2 - M1) \times 1 / 2$ （小数点第1位以下の端数は切り上げます。）

② $V1 = (M2 - M1) - V2$

（備考）

V1 = 推定料金算定期間の使用量

V2 = 翌料金算定期間の使用量

M1 = 推定料金算定期間開始日前日の検針におけるガスメーターの指示値

M2 = 翌料金算定期間末日の検針におけるガスメーターの指示値

(6) 当社は、お客さまが不在等のため検針できなかつた場合において、そのお客さまの不在等の期間が明らかかなときは、その推定料金算定期間の使用量は次のとおりといたします。

① お客さまが推定料金算定期間を通じて全く不在等であったことが明らかかなときは、その月の使用量は0立方メートルといたします。

② お客さまの過去の使用実績からみて、使用期間に応じて使用量を算定することが可能と認められる場合には、その月の使用量は、その使用期間に応じて算定した使用量といたします。

(7) 当社は、8なお書、8①ただし書及び8②に規定するガスの使用開始日以降最初の検針日に、お客さまが不在等のため検針できなかつた場合には、その推定料金算定期間の使用量は0立方メートルといたします。ただし、8なお書及び8①ただし書の場合で、当社が保有する託送供給に係る検針値を用いて(6)②による算定が可能であるときは除きます。

— 災害及び感染症の流行・ガスメーター故障等の場合の使用量算定等 —

(8) 当社は、災害及び感染症の流行等やむを得ない事情のため検針すべき日に検針できなかつた場合の料金算定期間の使用量は、(4) から (7) に準じて算定いたします。なお、後日、ガスメーターの破損又は滅失等が判明した場合には、(10) 又は (11) に準じて使用量を算定し直します。

(9) 当社は、ガスメーターの誤差が計量法で定める使用公差を超えていることが判明した場合には、お客さまと協議のうえ、ガスメーターを取り替えた日の前3か月分を超えない範囲内で、別表第4の算式により使用量を算定いたします。

ただし、その誤差の発生時期が明らかに確認できる場合は、その時期から算定いたします。

(10) 当社は、ガスメーターの故障、災害等によるガスメーターの破損又は滅失その他の事由により使用量が不明な場合には、前3か月分若しくは前年同期の同一期間の使用量又は取り替えたガスメーターによる使用量その他の事情を基準として、お客さまと協議のうえ、使用量を算定いたします。

(11) 当社は、災害等によりガスメーターが破損又は滅失して使用量が不明であるお客さまが多数発生し、使用量算定についてお客さまとの個別の協議が著しく困難な場合には、その料金算定期間の使用量は(10)の基準により算定することがあります。なお、お客さまより申し出がある場合は、協議のうえ、改めて使用量を算定し直します。

(12) 当社は、34(3)の規定による圧力のガスを供給する場合には、別表第5の算式により使用量を算定いたします。ただし、昇圧供給装置により供給する場合には、原則としてこの限りではありません。

19. 使用量のお知らせ

当社は、18の規定により使用量を算定したときは、速やかにその使用量をお客さまにお知らせいたします。

V 料金等

20. 料金の適用開始

料金は、8のガスの使用開始日又は37の規定により供給を再開した日から適用いたします。

21. 支払期限

(1) お客さまがお支払いいただくべき料金の支払義務は、次の各号に掲げる日（以下「支払義務発生日」といいます。）に発生いたします。

① 検針日（16(2)①、④、⑥、及び18(8)を除きます。）

② 18(9)、(10)又は(11)後段の規定（(8)後段の規定により準じる場合を含みます。）が適用される場合は、協議の成立した日

③ 18(8)前段又は(11)前段の規定（(8)後段の規定により準じる場合を含みます。）が適用される場合は、19により使用量をお知らせした日

(2) 料金は、(3)に定める支払期限日までにお支払いいただきます。

(3) 支払期限日は、支払義務発生日の翌日から起算して30日目といたします。ただし、支払義務発生日の翌日から起算して30日目、休日（日曜日、銀行法第15条第1項に規定する政令で定める日及び12月29日、12月30日をいい、36においても同様とします。）の場合には、その直後の休日でない日を支払期限日といたします。

2.2. 料金の算定及び申し受け

— 料金の算定方法 —

(1) 当社は、別表第6の料金表を適用して、19の規定によりお知らせした使用量に基づき、その料金算定期間の料金（基本料金及び従量料金の合計額をいい、31、別表第6、別表第7及び別表第8においても同様とします。）を算定いたします。ただし、12-1(4)④なお書きの規定により、お客さまが1需要場所に2個以上のガスメーターを設置している場合であって、お客さまから申し込みがあったときは、それぞれの検針値により算定した使用量を合計した量に基づき、ガスメーターを1個として、料金を算定いたします。（(4)及び(5)の場合も同様といたします。）

— 料金算定期間及び日割計算 —

(2) 当社は、(3)の規定により料金の日割計算を行う場合を除き、1料金算定期間を「1か月」として料金を算定いたします。

(3) 当社は、次の各号に掲げる事由に該当する場合には、その料金算定期間の料金を日割計算により算定いたします。ただし、当社の都合で料金算定期間の日数が36日以上となった場合を除きます。

- ① 定例検針日の翌日から次の定例検針日までの期間が24日以下又は36日以上となった場合
- ② 8なお書、8①ただし書及び8②の場合で、料金算定期間が29日以下又は36日以上となった場合
- ③ 10(1)から(3)の規定により解約等を行った場合で、料金算定期間が29日以下又は36日以上となった場合。（10(2)による解約が定例検針日と同日であった場合は①に該当するものとします。）
- ④ 36の規定によりガスの供給を停止した場合で、料金算定期間が29日以下又は36日以上となった場合（16(5)により、供給停止に伴う検針と供給再開に伴う検針を行わなかったものとした場合を除きます。）
- ⑤ 37の規定によりガスの供給を再開した場合で、料金算定期間が29日以下又は36日以上となった場合（16(5)により、供給停止に伴う検針と供給再開に伴う検針を行わなかったものとした場合を除きます。）
- ⑥ 35(1)の規定によりガスの供給を中止し又はお客さまに使用を中止していただいた日の翌日までにガスの供給を再開しなかった場合。ただし、その料金算定期間を通じてガスを全く使用できなかった場合には、料金はいただきません。

(4) 当社は、(3)①から⑤までの規定により料金の日割計算をする場合は、別表第7によります。

(5) 当社は、(3)⑥の規定により料金の日割計算をする場合は、別表第8によります。

— 端数処理 —

(6) 当社は、料金について、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は、その端数を切り捨てます。

— 適用料金の事前のお知らせ —

(7) 当社は、毎月の料金について適用する基本料金及び単位料金（基準単位料金又は調整単位料金）をあらかじめお客さまにお知らせし、お客さまが料金を算定できるようにいたします。

23. 単位料金の調整

(1) 当社は、毎月、(2) ②により算定した平均原料価格が(2) ①に定める基準平均原料価格を上回り又は下回る場合は、次の算定式により別表第6の各料金表の基準単位料金に対応する調整単位料金を算定いたします。この場合、基準単位料金に替えてその調整単位料金を適用して料金を算定いたします。

なお、調整単位料金の適用基準は、別表第6の2(2)のとおりといたします。

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金(1立方メートル当たり)

$$= \text{基準単位料金} + 0.084 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \times 1.2$$

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金(1立方メートル当たり)

$$= \text{基準単位料金} - 0.084 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \times 1.2$$

(備考)

上記の算定式によって求められた計算結果の小数点第3位以下の端数は切り捨てます。

(2) (1)の基準平均原料価格、平均原料価格及び原料価格変動額は、以下のとおりといたします。

① 基準平均原料価格(トン当たり)

66,310円

② 平均原料価格(トン当たり)

別表第6の2の(2)に定められた各3か月間における貿易統計の数量及び価額から算定したトン当たりLNG平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し、10円単位といたします。)及びトン当たりプロパン平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し、10円単位といたします。)をもとに次の算定式で算定し、算定結果の10円未満の端数を四捨五入した金額といたします。

(算定式)

平均原料価格

$$= \text{トン当たりLNG平均価格} \times 0.9503$$

$$+ \text{トン当たりプロパン平均価格} \times 0.0546$$

(備考)

トン当たりLNG平均価格及びトン当たりプロパン平均価格は、当社の当社ホームページ、付則3の約款の閲覧場所に掲示いたします。

③ 原料価格変動額

次の算定式で算定し、算定結果の100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額といたします。

(算定式)

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{原料価格変動額} = \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格}$$

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

$$\text{原料価格変動額} = \text{基準平均原料価格} - \text{平均原料価格}$$

24. 料金の精算等

- (1) 当社は、18(5)の規定において推定料金算定期間の使用量を見直した場合は、推定料金算定期間の料金としてすでにいただいた金額と、推定料金算定期間の見直し後料金に翌料金算定期間の料金を加えた合計額との差額を精算いたします。
- (2) 当社は、すでに料金としていただいた金額と18(9)、(10)、(11)の規定により算定した使用量に基づいた料金との差額が生じた場合には、これを精算いたします。
- (3) 当社は、ガス事業法令で規定する方法によって測定したガスの熱量のその月の算術平均値が、34(2)で定める標準熱量より2パーセントを超えて低い場合には、別表第9の算式により算定した金額(消費税等相当額を含みます。)をその月の料金から差し引きます。この場合、差し引いた結果1円未満の端数が生じたときには、その端数の金額を切り捨てます。

25. 保証金

- (1) 当社は、5(1)の申し込みをされた方又は支払期限日を経過してもなお料金の支払いがなかったお客さまから供給の開始若しくは再開に先立って、又は供給継続の条件としてその申込者又はお客さまの予想月額料金の3か月分(お客さまが設置している消費機器及び将来設置を予定している消費機器、増設する供給施設並びに前3か月分又は前年同期の同一期間の使用量その他の事情を基準として算定いたします。)に相当する金額を超えない範囲内で保証金を預かることがあります。
- (2) 保証金の預かり期間は、預かり日から、契約終了もしくは解約の日以降60日目までといたします。
- (3) 当社は、保証金について利息を付しません。
- (4) 当社は、お客さまから保証金を預かっている場合において、そのお客さまから支払期限日を経過してもなお料金の支払いがなく、かつ、当社の督促後5日以内になお支払いがないときは、保証金をもってその料金に充当いたします。この場合、保証金の不足分をお客さまに補充していただくことがあります。
- (5) 当社は、預かり期間経過後、又は10の規定により契約が消滅したときは、保証金((4)に規定する未収の料金がある場合にあっては、その額を控除した残額をいいます。)を速やかにお返しいたします。

26. 料金及び延滞利息の支払い方法

料金(31の規定による延滞利息を含みます。以下27、28、29、30において同じ)は、口座振替、クレジット決済又は払込みいずれかの方法により、毎月お支払いいただきます。ただし、次の号に掲げる場合は、払込みの方法によりお支払いいただきます。

- ① 37(1)①及び②に規定する料金及び延滞利息
- ② 口座振替若しくはクレジット決済が不能となっている場合の料金及び延滞利息

27. 料金の口座振替

- (1) 料金を口座振替の方法でお支払いいただく場合の金融機関は、当社が指定した金融機関といたします。
- (2) お客さまは、料金を口座振替の方法で支払われる場合は、当社所定の申込書又は金融機関所定の申込書によりあらかじめ当社又は金融機関に申し込んでいただきます。
- (3) 料金の口座振替日は、当社が指定した日といたします。

(4) 料金の支払方法として口座振替の方法を申し込まれたお客さまは、口座振替の手続が完了するまでは料金を以下の方法でお支払いいただきます。

- ① 既にガスをお使いのお客さまは口座振替申し込み時点の支払方法でご利用いただいている方法
- ② 新たにガスの使用を申し込まれたお客さまは払込みの方法

28. 料金のクレジット決済

(1) 料金をクレジット決済の方法で支払われる場合は、当社が指定したクレジットカード会社とお客さまとの契約に基づき、そのクレジットカード会社に毎月継続して立替えさせる方法によりお支払いいただきます。

(2) お客さまは、料金をクレジット決済の方法で支払われる場合は、当社所定の申込書又はクレジットカード会社所定の申込書によりあらかじめ当社又はクレジットカード会社に申し込んでいただきます。

(3) クレジットカード会社から当社に対する立替払いがされる日は、当社が指定した日といたします。

(4) 料金の支払方法としてクレジット決済の方法を申し込まれたお客さまは、クレジット決済の手続が完了するまでは料金を以下の方法でお支払いいただきます。

- ① 既にガスをお使いのお客さまはクレジット決済申し込み時点の支払方法でご利用いただいている方法
- ② 新たにガスの使用を申し込まれたお客さまは払込みの方法

29. 料金の払込み

お客さまは、料金を払込みの方法で支払われる場合は、当社又は当社が指定した債権管理回収業に関する特別措置法に基づく債権回収会社（以下「債権回収会社」といいます。）が作成した払込書により、次のいずれかの場所でお支払いいただきます。

- ① 当社又は債権回収会社が指定した金融機関又はコンビニエンスストア等（以下「金融機関等」といいます。）
- ② 当社の事業所等

なお、お客さまが債権回収会社が作成した払込書により、金融機関等で支払われる場合は、所定の手数料をご負担いただく場合があります。

30. 料金の当社への支払日

(1) 当社は、お客さまが料金を口座振替の方法で支払われる場合は、お客さまの口座から引き落とされた日に当社に対する支払いがなされたものといたします。

(2) 当社は、お客さまが料金をクレジット決済の方法で支払われる場合は、クレジットカード会社から当社に対する立替払いがされた日に当社に対する支払いがなされたものといたします。

(3) 当社は、お客さまが料金を金融機関等又は当社の指定した特約店で払込みの方法で支払われる場合、その金融機関等又は特約店に払い込まれた日に当社に対する支払いがなされたものといたします。

3 1. 延滞利息

(1) お客さまが支払期限日を経過してもなお料金を支払われない場合は、当社は、支払期限日の翌日から支払いの日までの期間に応じて延滞利息を申し受けます。ただし、次の場合には延滞利息は申し受けません。

① 料金を口座振替により支払われる場合で、当社の都合により料金を支払期限日の翌日以降にお客さまの口座から引き落とした場合

② 料金を支払期限日の翌日から起算して10日以内に支払われた場合

(2) 延滞利息は、次の算式により算定して得た金額といたします。なお、本体料金は、料金からその料金に含まれる消費税等相当額を除いたものといたします。

算定の対象となる本体料金×支払期限日の翌日から支払いの日までの日数×0.0274パーセント(1円未満の端数切り捨て)

(備考)

消費税等相当額の算定方法は、別表第6の2(3)のとおりといたします。

(3) 延滞利息は、原則として、お客さまが延滞利息の算定の対象となる料金を支払われた直後に支払義務が発生する料金とあわせてお支払いいただきます。

(4) 延滞利息の支払義務は、32及び36①の適用にあたっては、(3)の規定に基づきあわせて支払っていただく料金の支払義務発生日に発生したものとみなします。

(5) 延滞利息の支払期限日は、(3)の規定に基づきあわせて支払っていただく料金の支払期限日と同じとします。

3 2. 料金の支払順序

料金及び延滞利息(この最終保障約款に基づかない当社とのガスの供給及び使用に関する契約の料金及び延滞利息を含みます。)は、支払義務の発生した順序でお支払いいただきます。

3 3. 工事費、修繕費、検査料その他の支払方法

工事費等、供給施設の修繕費、検査料及びその他の料金以外の代金については、原則として払込みの方法でお支払いいただきます。この場合、次のいずれかの場所でお支払いいただきます。

① 当社が指定した金融機関

② 当社の事業所等

VI 供給

3 4. 供給ガスの熱量、圧力及び燃焼性

(1) 当社は、次に規定する熱量、圧力及び燃焼性(以下「熱量等」といいます。)のガスを供給いたします。

なお、燃焼性は、消費機器に対する適合性を示すもので、別表第10の燃焼速度とウォッベ指数との組み合わせによって決められるものです。

(2) 供給ガスは、この燃焼性によって類別されていますが、当社の類別は、13Aですので、消費機器は13Aとされている消費機器が適合いたします。

| | | | |
|-----|--------------|-----------|------------------------|
| 熱量 | 標準熱量 | ……………45 | メガジュール (10,750 キロカロリー) |
| | 最低熱量 | ……………43.5 | メガジュール |
| 圧力 | 最高圧力 | ……………2.5 | キロパスカル |
| | 最低圧力 | ……………1.0 | キロパスカル |
| 燃焼性 | 最高燃焼速度 | ……………47 | |
| | 最低燃焼速度 | ……………35 | |
| | 最高ウォッベ指数 | ……………57.8 | |
| | 最低ウォッベ指数 | ……………52.7 | |
| | ガスグループ | ……………13A | |
| | 燃焼性の類別 (旧呼称) | ……………13A | |

(3) 当社は、(2)に規定する最高圧力を超えるガスの使用の申し込みがある場合には、そのお客さまと協議のうえ、圧力を定めてそのガスを供給することがあります。

(4) 当社は、(2)に規定するガスの熱量等及び(3)の規定によって定めた圧力を維持できないことによつて、お客さまが損害を受けられたときは、その損害の賠償の責任を負います。ただし、当社の責めに帰すべき事由がないときは、当社は賠償の責任を負いません。

35. 供給又は使用の制限等

(1) 当社は、次の各号に掲げる事由に該当する場合には、ガスの供給の制限若しくは中止をし、又はお客さまに使用の制限若しくは中止をしていただくことがあります。

- ① 災害及び感染症の流行等その他の不可抗力による場合
- ② ガス工作物に故障が生じた場合
- ③ ガス工作物の修理その他施工（ガスメーター等の点検、修理、取替等を含みます。）のため特に必要がある場合
- ④ 法令の規定による場合
- ⑤ ガス漏れによる事故の発生のおそれがあると認めた場合（41(1)の処置をとる場合を含みます。）
- ⑥ ガスの不完全燃焼による事故の発生のおそれがあると認めた場合
- ⑦ 保安上又はガスの安定供給上必要な場合
- ⑧ その他当社のガス供給の的確な遂行に支障を与える事象が発生した場合又は発生するおそれがあると認めた場合

(2) 当社は、34(2)に規定するガスの熱量等を維持できない場合及び(1)の規定によりガスの供給の制限若しくは中止をし、又はお客さまに使用の制限若しくは中止をしていただく場合は、状況の許す限りその旨をあらかじめラジオ、テレビ、新聞等の報道機関を通じ、又はその他の適切な方法でお知らせいたします。

36. 供給停止

当社は、お客さまが次の各号に掲げる事由に該当する場合には、ガスの供給を停止することがあります。この場合、当社が損害を受けたときは、その損害を賠償していただきます。

なお、①、②及び③の事由によりガスの供給を停止する場合には、あらかじめその旨を予告いたします。

この場合、供給停止を予告する日と供給を停止する日との間に15日間及び5日間（休日を含みます。）の日数をおいて少なくとも2回予告いたします。

- ① 支払義務発生日の翌日から起算して50日（支払義務発生日の翌日から起算して50日目が休日の場合は、その直後の休日でない日）を経過してもなお料金又は延滞利息のお支払いがない場合
- ② 当社との他のガスの供給及び使用に関する契約（すでに消滅しているものを含みます。）の料金又は延滞利息について①の事実があり、期日を定めてお支払いを求めたにもかかわらず、なお期日までにお支払いがない場合
- ③ この最終保障約款に基づいてお支払いを求めた料金又は延滞利息以外の債務について、お支払いがない場合
- ④ 44各号に掲げる当社の係員の行う作業を正当な理由なくして拒み又は妨害した場合
- ⑤ ガスを不正に使用した場合、又は使用しようとしたと明らかに認められる場合
- ⑥ 3（10）の境界線内の当社のガス工作物を故意に損傷し又は失わせて、当社に重大な損害を与えた場合
- ⑦ 41（5）及び42（4）の規定に違反した場合
- ⑧ その他この最終保障約款に違反し、その旨を警告しても改めない場合

37. 供給停止の解除

（1）36の規定により供給を停止した場合において、お客さまが次の各号に掲げる事由に該当することを当社が確認できた場合には、速やかに供給を再開いたします。なお、供給を再開するにあたって保安上その他の必要がある場合には、お客さま又はお客さまの代理人に立ち会っていただきます。

- ① 36①の規定により供給を停止したときは、支払期限日が到来した全ての料金及び延滞利息を支払われた場合
- ② 36②の規定により供給を停止したときは、当社との他のガスの供給及び使用に関する契約（すでに消滅しているものを含みます。）の料金でそれぞれの契約で定める支払期限日が到来した全ての料金及び延滞利息を支払われた場合
- ③ 36③、④、⑤、⑥、⑦又は⑧の規定により供給を停止したときは、その理由となった事実を解消し、かつ、当社に対して支払いを要することとなった債務を支払われた場合

（2）当社は、供給の再開は原則として午前9時から午後5時の間に行います。

38. 供給制限等の賠償

当社が10（4）、35又は36の規定により解約をし、又は供給若しくは使用の制限、中止若しくは停止をしたために、お客さまが損害を受けられても、当社の責めに帰すべき事由がないときは、当社は賠償の責任を負いません。

Ⅶ 保 安

39. 供給施設の保安責任

- (1) 内管及びガス栓はお客様の所有とし、お客様の負担で設置していただきます。内管及びガス栓等、お客様の資産となる3(10)の境界線よりガス栓までの供給施設については、お客様の責任において管理していただきます。
- (2) 当社は、ガス事業法令の定めるところにより、(1)の供給施設について検査及び緊急時の応急の措置等の保安責任を負います。
- (3) 当社は、ガス事業法令の定めるところにより、内管及びガス栓並びに昇圧供給装置について、お客様の承諾を得て検査いたします。なお、当社は、その検査の結果を速やかにお客様にお知らせいたします。
- (4) お客様が当社の責に帰すべき事由以外の事由により損害を受けたときは、当社は賠償の責任を負いません。

40. 周知及び調査義務

- (1) 当社は、お客様に対し、ガスの使用に伴う危険の発生を防止するため、ガス事業法令の定めるところにより、報道機関、印刷物等を通じて必要な事項をお知らせいたします。
- (2) 当社は、ガス事業法令の定めるところにより、屋内に設置された不完全燃焼防止装置の付いていないふろがま、湯沸し器等の消費機器について、お客様の承諾を得て、ガス事業法令で定める技術上の基準に適合しているかどうかを調査します。その調査の結果、これらの消費機器がガス事業法令で定める技術上の基準に適合していない場合には、そのお客様にガス事業法令に定める技術上の基準に適合するよう改修し、又は使用を中止する等所要の措置及びその措置をとらなかったときに生ずべき結果をお知らせいたします。
- (3) 当社は、(2)のお知らせに係る消費機器について、ガス事業法令の定めるところにより、再び調査いたします。
- (4) ガス小売供給に係る無契約状態の期間は、(1)から(3)の周知及び調査を実施できません。また、当社は、これに起因する一切の事象に対して責任を負いません。
- (5) 当社は、ガス使用契約が成立する以前にお客様がガスの供給を受けていた他のガス小売事業者が、ガス事業法令に定められた周知及び調査義務を適切に果たしていなかったことに起因する一切の事象に対して責任を負いません。

41. 保安に対するお客様の協力

- (1) お客様は、ガス漏れを感知したときは、直ちにメーターガス栓及びその他のガス栓を閉止して、当社に通知していただきます。この場合、当社は、直ちに適切な処置をとります。
- (2) 当社は、ガスの供給又は使用が中断された場合、その中断の解除のためにマイコンメーターの復帰操作等をお客様にさせていただく場合があります。供給又は使用の状態が復旧しないときは、(1)の場合に準じて当社に通知していただきます。
- (3) お客様は、39(3)及び40(2)のお知らせを受けたときは、ガス事業法令に定める技術上の基準に適合するよう改修し、又は使用を中止する等所要の措置をとっていただきます。

- (4) 当社は、保安上必要と認める場合には、お客さまの構内又は建物内に設置した供給施設、消費機器について、修理、改造、移転若しくは特別の施設の設置を求め、又は使用をお断りすることがあります。
- (5) 当社は、お客さまが当社の承諾なしに供給施設を変更し、又は供給施設若しくは34(2)に規定するガスの熱量等に影響を及ぼす施設を設置することをお断りいたします。
- (6) お客さまは、当社が設置したガスメーターについては、検針及び検査、取替等維持管理が常に容易な状態に保持していただきます
- (7) 当社は、必要に応じてお客さまの3(10)の境界線内の供給施設の管理等についてお客さまと協議させていただくことがあります。

4.2. お客さまの責任

- (1) お客さまは、40(1)の規定により当社がお知らせした事項等を遵守してガスを適正かつ安全に使用していただきます。
- (2) お客さまは、乾燥器、炉、ボイラー等保安上の取り扱いに注意を要する特殊な消費機器を設置若しくは撤去する場合又はこれらの消費機器の使用を開始する場合には、あらかじめ当社の承諾を得ていただきます。
- (3) お客さまは、圧縮ガス等を併用する場合など、当該ガスが逆流するおそれがある場合には、当社の指定する場所に当社が認めた安全装置を設置していただきます。この場合、安全装置はお客さまの所有とし、その設置に要する費用（設計見積金額に消費税等相当額を加えたもの）とお客さまに負担していただきます。
- (4) お客さまは、昇圧供給装置を使用する場合には、その使用方法に従い天然ガス自動車又は次に掲げる全ての条件を満たすものにガスを昇圧して供給することのみに使用していただきます。
 - ① 高圧ガス保安法その他の関係法令に定めるものであること
 - ② 当該昇圧供給装置により昇圧可能な最高の圧力に耐えられる強度を持つものであること
 - ③ 34(2)に規定する供給ガスに適合するものであること
 - ④ 高圧ガス保安法その他の関係法令に定められる検査の有効期限内のものであること
 - ⑤ 当社で認めた安全装置を備えるものであること
- (5) ガス事業法第62条において、お客さまの責務として所有・占有するガス工作物に関して以下の事項が規定されており、それを遵守していただきます。
 - ① 一般ガス導管事業の保安業務に協力するよう努めなければならないこと
 - ② 仮に技術基準不適合により改修等の命令が経済産業大臣から発出された場合には、保安業務に協力しなければならないこと
 - ③ 改修等の命令が発出されたにもかかわらず、保安業務に協力しない場合であって、そのガス工作物が公共の安全の確保上特に重要なものである場合には、経済産業大臣が当該所有者・占有者に協力するよう勧告することができること

4 3. 供給施設等の検査

- (1) お客さまは、当社にガスメーターの計量の検査を請求することができます。この場合、検査料（検査のために必要となる費用に消費税等相当額を加えたものといいたします。（2）において同じ。）を負担していただきます。ただし、検査の結果、ガスメーターの誤差が計量法で定める使用公差を超えている場合には、検査料は当社が負担いたします。
- (2) お客さまは、内管、昇圧供給装置、ガス栓、消費機器、お客さまのために設置されるガス遮断装置又は整圧器及び3（15）に定めるガスメーター以外のガス計量器等が法令等に定める基準に適合しているかについての検査を当社に請求することができます。この場合、検査の結果が法令等に定める基準に適合しているかどうかにかかわらず検査料はお客さまにご負担していただきます。
- (3) 当社は、（1）及び（2）に規定する検査を行った場合には、その結果を速やかにお客さまにお知らせいたします。
- (4) お客さまは、当社が（1）及び（2）に規定する検査を行う場合には、自ら検査に立ち会い、又は代理人を立ち合わせることができます。

Ⅷ その他

4 4. 使用場所への立ち入り

当社は、次の各号に掲げる作業のため必要な場合には、お客さまの承諾を得て、係員をお客さまの供給施設又は消費機器の設置の場所に立ち入らせていただきます。この場合、正当な事由がない限り、立ち入ることを承諾していただきます。なお、お客さまの求めに応じ、係員は所定の証明書を提示いたします。

- ① 検針のための作業（ガスメーター等の確認作業等を含みます。）
- ② 供給施設の検査及び消費機器の調査のための作業
- ③ 当社の供給施設の設計、工事又は維持管理に関する作業
- ④ 10（1）から（4）の規定による解約等に伴い、ガスの供給を終了させるための作業
- ⑤ 35又は36の規定による供給又は使用の制限、中止又は停止のための作業
- ⑥ ガスメーター等の法定検定期間満了等による取替の作業
- ⑦ その他保安上の理由により必要な作業

付 則

1. この最終保障約款の実施期日

この最終保障約款は、平成29年4月1日から実施いたします。

2. ガスメーターの能力の表記に関する経過措置

当社は、当面の間、ガスメーターの能力を「号数」で表記することがあります。

3. 約款の閲覧場所

この最終保障約款の閲覧場所は以下のとおりです。

| | |
|--------|------------------|
| 本社 | 札幌市中央区大通西7丁目3-1 |
| 北4条事業所 | 札幌市中央区北4条東5丁目373 |
| 小樽支店 | 小樽市入船4丁目33-1 |
| 千歳支店 | 千歳市清水町1丁目1-1 |
| 函館支店 | 函館市万代町8-1 |
| 北見支店 | 北見市北7条東1丁目1-1 |

(別表第1)

供給区域

札幌市のうち下記の地域

北 区

一般国道231号線及び一般国道5号線以西（ただし西茨戸を除く）

あいの里・南あいの里・拓北

百合が原公園・百合が原（ただし百合が原11丁目の烈々布支線以東を除く）

篠路（JR北海道学園都市線以東）

篠路町太平（烈々布支線以西）

篠路町上篠路（上篠路北光線・上篠路北光9号線・上篠路115-1、111、99-57番地の北側境界及び99-62・61・66・1、101-1、102-1・6番地の西側境界線・道道花畔札幌線・旧琴似川放水路によって囲まれた地域）

篠路町拓北（JR北海道学園都市線・興産社大野地線・山口幹線・山口支線・山口支線の東側終点から当別町境界線を最短距離で結んだ線・当別町境界線によって囲まれた地域）

西 区

発寒

西町北

西町南

八軒

琴似

二十四軒

山の手

西野（西野1条1丁目～同9丁目・同2条1丁目～同10丁目・同3条1丁目～同10丁目・同4条1丁目～同8丁目及び北1条宮の沢通以北）

宮の沢（宮の沢1条1丁目～同5丁目・同2条1丁目～同5丁目・同3条1丁目～同3丁目11番～16番、17番の一部、18番～21番・同3条4丁目5番～19番・同3条5丁目・同4条5丁目17番）

手稲区

新発寒

前田

星置

西宮の沢（西宮の沢1条1丁目～同5丁目・同2条1丁目～同5丁目・同3条1丁目～同3丁目・同4条1丁目～同5丁目・同5条1丁目・同5条2丁目・同6条1丁目・同6条2丁目）

富丘（ただし富丘6条2丁目～同4丁目・同6条7丁目を除く） 手稲本町（高速自動車国道北海道横断自動車道小樽札幌線以北）

稲穂（ただし稲穂5条2丁目～同7丁目を除く）

金山（金山1条1丁目）

手稲星置

手稲山口（山口運河以南）

明日風

曙（下手稲通以南、曙11条2丁目3（うち5・7・8を除く地域）、同12条2丁目の2-1・2・3・5・6・7・8・10・11並びに3-1・2の西側境界以西の地域）

手稲前田（ただし道道石狩手稲線、道道前田新川線、国道337号線、札幌市と石狩市との境界線によって囲まれた地域を除く）

中央区（ただし下記を除く全域）

盤溪

東区（ただし下記を除く全域）

丘珠町（ただし札幌丘珠空港関連施設敷地及び川向中通、さとらんど通、伏古拓北通、雁来篠路連絡線を結ぶ線以南、雁来篠路連絡線以東を除く）・北丘珠

東苗穂（東苗穂13条3丁目～4丁目・同14条3丁目・同15条3丁目～4丁目）

東雁来町（ただし豊畑通線及びその延長線以西かつ豊平川以北を除く）

東雁来（東雁来8条2丁目）・中沼町・中沼西

栄町（ただし篠路通り以西及び885～891番地・892番地1、3・893番地1、3・894番地1、5・895番地・950番地1（895番地と902番地の北側境界を結ぶ線以南）・902番地1を除く）

南区（ただし下記を除く全域）

川沿町（南の沢線以北）・北ノ沢・硬石山・小金湯・定山溪・定山溪温泉西・定山溪温泉東・白川・滝野・砥山・砥石山・常盤（ただし常盤1条1丁目～同1条2丁目・同2条1丁目～同2条3丁目・同3条1丁目～同3条2丁目・同4条1丁目～同4条2丁目・同5条1丁目～同5条2丁目・同6条1丁目～同6条2丁目を除く）・豊滝・中ノ沢・藤野・簾舞・南沢・藻岩山・石山（ただし石山1条1丁目・同1条2丁目2番～4番、7番～16番・同1条3丁目6番の一部・石山1号線、石山2号線、石山3号線、石山3号線と主要道道札幌支笏湖線を結ぶ市道芸術の森2号線及び主要道道札幌支笏湖線によって囲まれた地域・石山921番地6・同923番地1・同924番地1・同925番地・同926番地3・同926番地6を除く）・川沿（川沿中央通と道道西野真駒内清田線を結ぶ線以北及び川沿町西線と川沿3丁目線を結ぶ線以西）・真駒内（平岸通りと真駒内滝野線を結ぶ道路でかつ精進川への延長上の南側（ただし真駒内団地中央線の延長線以北かつ真駒内と真駒内南町6丁目の境界線の延長線以北を除く））

白石区（ただし下記を除く全域）

東米里

厚別区（ただし下記を除く全域）

厚別町山本（一般道々東雁来江別線以北）

豊平区

豊平・旭町・水車町・美園・平岸・中の島・月寒東・月寒中央通・月寒西・福住・西岡（西岡1条2丁目～同8丁目・同2条1丁目～同14丁目・同3条1丁目～同13丁目・同4条1丁目～同14丁目・同5条1丁目～同3丁目・同5条11丁目～同14丁目）・羊ヶ丘（1番地3・6・11、10番地1・2）

清田区

北野・平岡・平岡公園・平岡公園東・清田（清田376番地・同377番地・同379番地・同382番地・同385番地・同414番地・同384番地・同355番地・同344番地及び同343番地と同374番地・同375番地・同287番地及び同333番地との境界、清田団地5号道路、清田343番地及び同345番地と同329番地との境界、清田団地56号道路、清田346番地・同353番地及び同354番地と同347番地及び同348番地との境界、清田団地75号道路で結ぶ線以東）・真栄（真栄427番地2と427番地4との境界、同560番地1と560番地2との境界、同561番地4と同560番地2及び同429番地4との境界、同429番地1と同429番地4との境界、国有地と同660番地との境界、同430番地1と同430番地5・同434番地2・同433番地2及び同416番地3との境界、同416番地2と同416番地3及び同416番地1との境界、同415番地2と同415番地1との境界、同413番地4と同413番地2との境界、同413番地5と同413番地6との境界、真栄線、一般道道真駒内御料札幌線、厚別川、美しが丘323-146番地と同317番地との境界で結ぶ線以北）・里塚（里塚1条1丁目～同4丁目・同2条1丁目～同7丁目・同3条1丁目～同7丁目・同4条1丁目・同4条3丁目及び同461番地15、同1062番地1・2・3・4・5、同464番地9・12・18・31）・里塚緑ヶ丘・美しが丘（ただし美しが丘4条10丁目、同5条5丁目317番地を除く）

石狩市のうち下記の地域

茨戸川・花畔北10線及びその茨戸川までの延長線・花畔6号線・花畔幹線用水路・道道小樽石狩線・樽川幹線・樽川倉庫中央通・道道小樽石狩線・樽川東循環線・流通関連線・国道337号線・花畔本通・ニュータウン1番線及びその延長線・花畔北12線・道道石狩手稲線・樽川7線・樽川2号線・樽川4線・道道石狩手稲線・札幌市と石狩市の境界線・一般国道231号線・道道花畔札幌線・屯田都市下水路で囲まれる地域

花川東1条1丁目の49と53・54の境界線及びその延長線以南、花川東1条2丁目～同4丁目

小樽市のうち下記の地域

若竹町・築港・勝納町・潮見台1丁目～4丁目・真栄1丁目・真栄2丁目・新富町・信香町・有幌町・住吉町・若松1丁目～2丁目・奥沢1丁目～5丁目・住之江1丁目～2丁目・入船1丁目～5丁目・松ヶ枝1丁目～2丁目・天神1丁目・天神2丁目（1～7番地）・堺町・東雲町・相生町・山田町・花園1丁目～5丁目・最上1丁目～2丁目・緑1丁目～5丁目・港町・色内1丁目～3丁目・稲穂1丁目～5丁目・富岡1丁目～2丁目・錦町・石山町・豊川町・梅ヶ枝町・末広町・手宮1丁目～3丁目・高島4丁目～5丁目・祝津1丁目・祝津2丁目・赤岩1丁目～2丁目・清水町・長橋1丁目～4丁目・長橋5丁目（1～32番地）・幸1丁目～4丁目・オタモイ1丁目（12～15番地）・塩谷2丁目・塩谷4丁目・船浜町・桜1丁目～2丁目・桜3丁目（6～18番地、22番地）・桜4丁目～5丁目・望洋台1丁目～望洋台2丁目・望洋台3丁目（1～9番地、10-1～10-3番地、10-4番地の一部、11-1～11-2番地、14番地、15番地）・朝里川温泉1丁目（1-1～1-3番地、2～7番地、112～117番地、123番地の一部、126番地・146番地の2、147番地の1、115番地116番地146番地に囲まれた地域）、銭函3丁目（銭函運河線、星置線、星置川左岸線、国道337号線、銭函運河線、御膳水通線、国道5号線、国道337号線、JR北海道函館本線、小樽市と札幌市の境界線によって囲まれた地域）、銭函5丁目（樽川倉庫中央通線、樽川倉庫1号南線、道道石狩湾新港線、樽川西循環線、樽川風防添線、樽川幹線で囲まれた地域）

北広島市のうち下記の地域

もみじ台通線、西の里団地19号線、西の里団地1号線、西の里団地栄西1号線、西の里栄西1号線の国道274号線までの延長線及び国道274号線を結ぶ線以北の地域・大曲幸町（1丁目～5丁目）・大曲南ヶ丘・大曲工業団地・大曲（大曲幸町5丁目との境界線と道道仁別大曲線、仁別との境界線、輪厚との境界線、国道36号線、及び大曲工業団地4丁目・同3丁目・同5丁目・同6丁目・同8丁目との境界線によって囲まれた地域）

恵庭市のうち下記の地域

戸磯（JR千歳線、戸磯と黄金町の境界線、戸磯黄金通、基線通、戸磯と上山口の境界線、東2線、国道36号恵庭バイパスによって囲まれた地域及びJR千歳線、道道恵庭栗山線、戸磯工業団地通、基線通、ユカンボシ川以東の地域）

恵南（ユカンボシ川・桜町恵南線・恵南桜木通以北の地域）

千歳市のうち下記の地域

本町・東雲町・朝日町・真町176番地・真々地・錦町・幸町・清水町・栄町・千代田町・春日町・緑町・大和・北栄・新富・末広・花園・高台・青葉丘・青葉・住吉・東郊・日の出・日の出丘・旭ヶ丘・祝梅2035番地138の一部、2037番地174～175、177～178・流通1丁目～同2丁目、3丁目1番地、4番地1～2、3の一部、5～12、5番地の一部・寿1丁目～同2丁目、3丁目1番（1番地1～4を除く。）、2番～6番、11番・弥生1丁目～同2丁目、3丁目1番（1番地6～8を除く。）、4番～5番、11番・梅ヶ丘1丁目～同2丁目（4番、6番～7番を除く。）、3丁目・平和（国道36号以北の地域、及びJR北海道千歳線・新千歳空港A滑走路西端の延長線・平和と美々の境界線・航空自衛隊千歳基地千歳飛行場滑走路東端とその延長線によって囲まれた地域）・美々（美々と平和の境界線・新千歳空港A滑走路西端とその延長線・新千歳空港管理2号線の南230mの線・航空自衛隊千歳基地千歳飛行場滑走路東端によって囲まれた地域）・信濃・富士・富丘・北斗・自由ヶ丘・桜木、北光・北陽・長都駅前・北信濃陸上自衛隊北千歳駐屯地長都官舎地区、北信濃（南28号、東6線、南29号、北信濃と根志越との境界線によって囲まれた区域）・あずさ・上長都（JR北海道千歳線、上長都と長都駅前の境界線、東6線、南28号、東5線、南27号、東3線で囲まれた区域）

市道09-07東9号道路、市道09-17南3号道路、JR北海道千歳線、市道09-19南2号道路、市道09街路29市場通、市道09-19南1号道路、国道36号、市道09街路15 4線大通、市道09-11南1号通、市道09街路25 32号通、市道09街路13 33号大通、市道09街路30 5線通、市道09街路25 32号通に囲まれた区域（上長都1037番地2～3、1038番地2を除く。）

上長都939番地1～7、16～17、21、947番地、948番地、1044番地2、1062番地、1121番地2～3、7、1123番地2、4、1124番地2～6、8、10～11、1125番地1、1130番地10、1160番地3、6～8、21～22、25～26、29、32～44、1189番地1～2、8、1191番地1～2、9、1192番地2、9、1195番地

稲穂・桂木・幸福2丁目～同4丁目・清流1丁目3番～7番、清流2丁目～同8丁目・根志越（南29号、北信濃と根志越との境界線、南28号、市道09-25南35号道路及びその延長線で囲まれた区域）・一部一般道路用地及び国有地を含む・泉沢（872番地の14・市道09-01東7号道路の一部・真町泉沢大通以南かつ平和と泉沢の南北に伸びる境界線（真町泉沢大通までの延長線を含む）以西の地域）、柏台（JR北海道千歳線、国道337号線、日の出大通、青葉丘と柏台の境界線に囲まれた地域）・若草・白樺・里美・柏陽・福住・文京

函館市のうち下記の地域

入舟町・船見町・弥生町・弁天町・大町・末広町・元町・青柳町・谷地頭町・住吉町・宝来町・東川町・豊川町・大手町・栄町・旭町・東雲町・大森町・松風町・若松町及び若松町12番地先青函連絡船記念館摩周丸・千歳町・上新川町・新川町・海岸町・大縄町・松川町・万代町・浅野町・吉川町・北浜町・港町1丁目～3丁目・追分町・亀田町・大川町・田家町・白鳥町・八幡町・宮前町・中島町・千代台町・堀川町・高盛町・宇賀浦町・日の出町・的場町・時任町・杉並町・本町・梁川町・五稜郭町・柳町・松陰町・人見町・金堀町・乃木町・柏木町・川原町・深堀町・駒場町・広野町・湯浜町・湯川町1丁目～3丁目・戸倉町・榎本町・花園町・日吉町1丁目～4丁目・上野町・富岡町1丁目～3丁目・亀田本町・亀田港町・美原1丁目・美原2丁目・美原3丁目・美原4丁目・美原5丁目・昭和町・昭和1丁目・昭和2丁目・昭和3丁目・昭和

4丁目・本通1丁目・本通2丁目・本通3丁目・本通4丁目・鍛冶1丁目・鍛冶2丁目・山の手1丁目・山の手2丁目・山の手3丁目・中道1丁目・中道2丁目・赤川1丁目・北美原1丁目～3丁目・神山町（市道神山四稜郭線以南の地域）・神山1丁目

亀田中野町 市道赤川桔梗線、市道亀田中野5号線、市道中野中央線を結ぶ線以南の地域

赤川町 サノミ沢川放水路以南かつ亀田川以西の地域

石川町 赤川石川線以西

桔梗町 国道5号線、函館市と七飯町の境界線、函館新道及び桔梗町と石川町の境界線によって囲まれた地域

函館新道、タタラ沢川、常盤川に囲まれた地域

道々函館上磯線以南の地域

西桔梗町 道々函館上磯線以南の地域

高松町 高松町と湯川町・戸倉町・上湯川町の境界線、道々函館空港線、市道高松12号線、高松町と瀬戸川町・志海苔町の境界線、市道高松新湊線、高松町と根崎町の境界線で囲まれた地域

根崎町 弥衛門川以西の地域

瀬戸川町 市道高松12号線、市道志海苔瀬戸川線、市道高松新湊線以西の地域

上湯川町 道々函館空港線以南の地域

北斗市のうち下記の地域

七重浜 七重浜3丁目～6丁目（ただし七重浜6丁目4番を除く）

追分 追分1丁目・追分2丁目

北見市のうち下記の地域

大通りから北11条までの各丁目、大町、公園町、高砂町、青葉町、三楽町、三住町、東陵町（北3線以北の区域を除く。）、中央町、番場町、北斗町、清見町、幸町、山下町、本町、美芳町、寿町、花月町、高栄東町、高栄西町、北進町、とん田東町、とん田西町、光西町、栄町、西富町、常盤町、中ノ島町（常呂川及び無加川の堤外地を除く。）、南仲町、南町（常呂川の堤外地を除く。）、泉町、桜町（常呂川の堤外地を除く。）、清月町（常呂川の堤外地を除く。）、朝日町（常呂川の堤外地を除く。）、田端町（常呂川の堤外地を除く。）、小泉（東8号から東10号までの北1線以北の区域を除く。）、ひかり野（常呂川の堤外地を除く。）、柏陽町、並木町、文京町、曙町、若葉、緑ヶ丘（昭和通り以北及び大正裏山道路以北の区域を除く。）、美山町（仁頃通り以北及び北5線以北の区域を除く。）、春光町の1丁目から7丁目、三輪（西6号以东）・中央三輪1丁目・同2丁目・同5丁目（ただし無加川堤外地を除く。）、桂町、双葉町、緑町、卸町1丁目、大正（西9号以西、北4線以北、西8号・北2線の交点から北260mの地点と西7号・北4線の交点を結ぶ線以东の区域を除く。）、北光（訓子府川以南及び訓子府川の堤外地を除く。）、光葉町（ふるさと銀河線以东を除く。）、花園町（無加川の堤外地を除く。）、新生町（ふるさと銀河線以东を除く。）、川沿町（無加川の堤外地を除く。）、北央町（ふるさと銀河線以东を除く。）、錦町（無加川の堤外地を除く。）、広明町（ふるさと銀河線以东及び訓子府川以南を除く。）、末広町（無加川の堤外地を除く。）、無加川町（無加川及び訓子府川の堤外地を除く。）、豊地（西8号以西及び訓子府川以南並びに無加川・訓子府川の堤外地を除く。）

(別表第2)

本支管工事費の当社の負担額

1. ガスメーターの能力別当社負担額

| 設置するガスメーターの能力 | ガスメーター1個につき当社の負担する金額 |
|---------------|----------------------|
| 1立方メートル毎時 | 71,400円 |
| 1.6 | 114,240 |
| 2.5 | 178,500 |
| 4 | 285,600 |
| 6 | 428,400 |
| 10 | 714,000 |

2. 1以外のガスメーターを設置する場合の当社負担額は、設置するガスメーターの能力1立方メートル毎時につき71,400円の割合で計算した金額といたします。

3. 34(3)の規定に基づく圧力のガスを供給する場合の当社負担額は、1及び2により算定された金額に、次の係数を乗じた金額といたします。

係数

最高圧力が0.1メガパスカル以上0.3メガパスカル未満の場合・・・2

最高圧力が0.3メガパスカル以上1メガパスカル未満・・・・・・・・・・4

(別表第3)

本支管及び整圧器

| | 口 径 | |
|-----|---|-------|
| 本支管 | 50mm | 250mm |
| | 80 | 300 |
| | 100 | 350 |
| | 150 | 400 |
| | 200 | |
| | ただし、最高使用圧力が0.1MPa以上の導管を用いる場合には、口径100mm以上といたします。 | |
| 整圧器 | 50mm | 150mm |
| | 80 | 200 |
| | 100 | 250 |

(別表第4)

ガスメーターの誤差が使用公差を超えている場合の使用量の算式

1. 速動（正しい数量よりも多く計量される場合をいいます。）の場合

$$V = \frac{V_1 \times (100 - A)}{100}$$

2. 遅動（正しい数量よりも少なく計量される場合をいいます。）の場合

$$V = \frac{V_1 \times (100 + A)}{100}$$

(備考)

V は、18(9)の規定により算定する使用量

V₁は、計量法で定める使用公差を超えているガスメーターによる使用量

A は、計量法で定める使用公差を超えているガスメーターによる速動又は遅動の割合（パーセント）

(別表第5)

最高圧力を超える圧力で供給する場合の使用量の算式

$$V = \frac{V_1 \times (101325 + P)}{101325 + 0.981}$$

(備考)

V は、18(12)の規定により算定する使用量

P は、最高圧力を超えて供給する圧力（キロパスカル）

V₁は、ガスメーターの検針量

(別表第6)

適用する料金表

以下に記載する料金表の基本料金及び基準単位料金（以下「料金表価格」といいます。）は、料金等の算定（調整単位料金の算定を含みます。）の前に、あらかじめ次の算式により消費税等相当額を加算してから用います。

消費税等相当額加算後の料金表価格（小数点第3位以下切捨て）＝料金表価格×（1＋消費税率）

1. 適用区分

- 料金表A 使用量が0立方メートルから15立方メートルまでの場合に適用いたします。
- 料金表B 使用量が15立方メートルを超え、50立方メートルまでの場合に適用いたします。
- 料金表C 使用量が50立方メートルを超え、200立方メートルまでの場合に適用いたします。
- 料金表D 使用量が200立方メートルを超え、800立方メートルまでの場合に適用いたします。
- 料金表E 使用量が800立方メートルを超える場合に適用いたします。

2. 料金及び消費税等相当額の算定方法

- (1) 料金は、基本料金と従量料金の合計といたします。従量料金は、基準単位料金又は23の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。
- (2) 調整単位料金の適用基準は、次のとおりといたします。
- ① 料金算定期間の末日が1月1日から1月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年8月から10月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ② 料金算定期間の末日が2月1日から2月28日（うるう年は2月29日）に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年9月から11月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ③ 料金算定期間の末日が3月1日から3月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年10月から12月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ④ 料金算定期間の末日が4月1日から4月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年11月から当年1月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑤ 料金算定期間の末日が5月1日から5月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年12月から当年2月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑥ 料金算定期間の末日が6月1日から6月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年1月から3月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑦ 料金算定期間の末日が7月1日から7月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年2月から4月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑧ 料金算定期間の末日が8月1日から8月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年3月から5月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑨ 料金算定期間の末日が9月1日から9月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、

当年4月から6月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

⑩ 料金算定期間の末日が10月1日から10月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年5月から7月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

⑪ 料金算定期間の末日が11月1日から11月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年6月から8月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

⑫ 料金算定期間の末日が12月1日から12月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年7月から9月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

(3) 料金に含まれる消費税等相当額は、次の算式により算定いたします（小数点以下の端数切捨て）。

料金に含まれる消費税等相当額＝料金×消費税率÷（1＋消費税率）

3. 料金表A

(1) 基本料金

| | |
|------------------|-----------|
| 1か月及びガスメーター1個につき | 1,032.00円 |
|------------------|-----------|

(2) 基準単位料金

| | |
|------------|---------|
| 1立方メートルにつき | 218.94円 |
|------------|---------|

(3) 調整単位料金

(2)の基準単位料金をもとに23の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

4. 料金表B

(1) 基本料金

| | |
|------------------|-----------|
| 1か月及びガスメーター1個につき | 1,586.40円 |
|------------------|-----------|

(2) 基準単位料金

| | |
|------------|---------|
| 1立方メートルにつき | 181.98円 |
|------------|---------|

(3) 調整単位料金

(2)の基準単位料金をもとに23の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

5. 料金表C

(1) 基本料金

| | |
|------------------|-----------|
| 1か月及びガスメーター1個につき | 2,196.00円 |
|------------------|-----------|

(2) 基準単位料金

| | |
|------------|---------|
| 1立方メートルにつき | 169.78円 |
|------------|---------|

(3) 調整単位料金

(2)の基準単位料金をもとに23の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

6. 料金表D

(1) 基本料金

| | |
|------------------|-----------|
| 1か月及びガスメーター1個につき | 8,400.00円 |
|------------------|-----------|

(2) 基準単位料金

| | |
|------------|---------|
| 1立方メートルにつき | 138.76円 |
|------------|---------|

(3) 調整単位料金

(2)の基準単位料金をもとに23の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

7. 料金表E

(1) 基本料金

| | |
|------------------|------------|
| 1か月及びガスメーター1個につき | 10,800.00円 |
|------------------|------------|

(2) 基準単位料金

| | |
|------------|---------|
| 1立方メートルにつき | 135.76円 |
|------------|---------|

(3) 調整単位料金

(2)の基準単位料金をもとに23の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

(別表第7)

料金の日割計算(1)

料金は、次の日割計算後基本料金と従量料金の合計といたします。なお、別表第6の1の適用区分は、料金算定期間の使用量に30を乗じ、次の日割計算日数で除した1か月換算使用量によります。

(1) 日割計算後基本料金

$$\text{基本料金} \times \text{日割計算日数} / 30$$

(備 考)

- ① 基本料金は、別表第 6 の料金表における基本料金
- ② 日割計算日数は、料金算定期間の日数
- ③ 計算結果の小数点第 3 位以下の端数は切り捨て

(2) 従量料金

別表第 6 の料金表における基準単位料金又は 2 3 の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。

なお、調整単位料金の適用基準は、別表第 6 における適用基準と同様といたします。

(別表第 8)

料金の日割計算 (2)

料金は、次の日割計算後基本料金と従量料金の合計といたします。なお、別表第 6 の 1 の適用区分は、料金算定期間の使用量に 30 を乗じ、30 から供給中止期間の日数を差し引いた日数で除した 1 か月換算使用量によります。

(1) 日割計算後基本料金

$$\text{基本料金} \times (30 - \text{供給中止期間の日数}) \div 30$$

(備 考)

- ① 基本料金は、別表第 6 の料金表における基本料金
- ② 供給中止期間の日数は、供給中止の日の翌日から供給再開の日までの日数。ただし、31 日以上の場合は 30
- ③ 計算結果の小数点第 3 位以下の端数は切り捨て

(2) 従量料金

別表第 6 の料金表における基準単位料金又は 2 3 の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。

なお、調整単位料金の適用基準は、別表第 6 における適用基準と同様といたします。

(別表第 9)

標準熱量より 2 パーセントを超えて低い場合に料金から差し引く金額の算式

$$D = \frac{F \times (C - A)}{C}$$

(備 考)

D は、2 4 (3) の規定により算定する金額

F は、2 2 の規定により算定した従量料金

C は、3 4 (2) に規定する標準熱量

A は、ガス事業法令に規定する方法によって測定したガスの熱量のその月の算術平均値

(別表第10)

燃焼速度・ウォッベ指数

(1) 燃焼速度は、ガスの組成によって決まるもので、次の計算式によって得られる数値をいいます。

[算式] $MCP = \sum (S_i f_i A_i) / \sum (f_i A_i) \times (1 - K)$

MCPは、燃焼速度

S_i は、ガス中の各可燃性ガスの燃焼速度であって、次の表に掲げる値

f_i は、ガス中の各可燃性ガスに係る係数であって、次の表に掲げる値

A_i は、ガス中の各可燃性ガスの含有率（体積百分率）

Kは、減衰係数であって、次の式により算出した値

$$K = \frac{\sum \alpha_i}{\sum (\alpha_i A_i)} \left\{ \frac{2.5CO_2 + N_2 - 3.77O_2}{100 - 4.77O_2} + \left(\frac{N_2 - 3.77O_2}{100 - 4.77O_2} \right)^2 \right\}$$

α_i は、ガス中の各可燃性ガスの補正係数であって、次の表に掲げる値

CO_2 は、ガス中の二酸化炭素の含有率（体積百分率）

N_2 は、ガス中の窒素の含有率（体積百分率）

O_2 は、ガス中の酸素の含有率（体積百分率）

| | 水素 | 一酸化炭素 | メタン | エタン | エチレン | プロパン | プロピレン | ブタン | ブテン | その他の炭化水素 |
|------------|------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|----------|
| S_i | 282 | 100 | 36 | 41 | 66 | 41 | 47 | 38 | 47 | 40 |
| f_i | 1.00 | 0.781 | 8.72 | 16.6 | 11.0 | 24.6 | 21.8 | 32.7 | 28.5 | 38.3 |
| α_i | 1.33 | 1.00 | 2.00 | 4.55 | 4.00 | 4.55 | 4.55 | 5.56 | 4.55 | 4.55 |

(2) ウォッベ指数とは、ガスの熱量及び比重によって決まるもので、次の算式によって得られる指数をいいます。

[算式] $WI = H / \sqrt{a}$

WI = ウォッベ指数

a = ガスの空気に対する比重

H = ガスの熱量（メガジュール）

(3) 燃焼性の類別は、燃焼速度、ウォッベ指数により定まり、その範囲とガスグループの対応は、以下の表のとおりといたします。

| 燃焼性の類別 | ガスグループ | ウォッベ指数 (WI) | | 燃焼速度 (MCP) | |
|--------|--------|-------------|------|------------|-----|
| | | 最小値 | 最大値 | 最小値 | 最大値 |
| 13A | 13A | 52.7 | 57.8 | 35 | 47 |